



自治体首長、実務家、研究者、ジャーナリスト
そして、あなたとともに描くかながわの未来

地域力を いかに育てるか

～“分かち合い”で築く
かながわの未来Ⅱ～



2013年

11月9日(土) 13:30▶17:00

10日(日) 9:30▶17:00

会 場 湘南国際村センター(神奈川県葉山町)

参加費 1日目(11/9) 500円 2日目(11/10) 1,000円

※昨年度の円卓会議「地域力を鍛える」講演報告書進呈

定 員 80名(定員を超えた場合抽選)

締 切 11月1日(金)



地域力をいかに育てるか

～“分かち合い”で築くかながわの未来Ⅱ～

私たちの生活基盤であるコミュニティで「地域力をいかに育てるか」が、いま各地で問われています。それは東日本大震災を契機に改めて地域の“絆”の重要性が注目されたことや少子高齢化やシャッター通りの増加といった社会構造の変化に対応せざるを得なくなっているからではないでしょうか。そこで、コミュニティを支える地域医療や福祉、育児や教育をはじめとする子どもたちをめぐる環境のあり方など、どのようなビジョンを描き、それをいかに実現させていくのかについて、多様な視点から参加者のみなさんと一緒に話し合います。

2日間のプログラムでは、第1日目に「地域力を育てる制度」として現在、神奈川県内のいくつかの自治体で取り組みが始まっている地域内分権組織に着目します。2日目の午前では、「コミュニティを担う多様な主体」のあり方について、そして午後には、「地域力を育てるために必要な機能」について、参加者のみなさんとの対話を通して考えていきたいと思います。

参考データ：私たち神奈川県民が抱えている生活意識について

神奈川県平成24年度県民ニーズ調査において提示された39項目のうち、「そう思う」「そう思わない」で尋ねたところ上位の項目はそれぞれ次のとおり。

◆「そう思う」項目の上位4項目

- ・環境のことを考えて、ゴミの分別やリサイクルなどを心がけている 95.6%
- ・介護は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ 93.2%
- ・育児は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ 91.0%
- ・神奈川県は、歴史や文化、自然など、地域ごとに特色があり魅力的な県だ 88.3%

◆「そう思わない」項目の上位4項目

- ・教員の指導力が向上し、子どもたちが意欲的に学習できる環境となっている 86.0%
- ・今後10年くらいの間に、地域の大人が、青少年の健やかな成長に責任を持つようになっていく 83.6%
- ・今後10年くらいの間に、一人ひとりの人権が尊重され、差別がない地域社会になっている 83.5%
- ・今後10年くらいの間に、子どもたちの教育に誰もが関心を持ち、学校・家庭・地域などが連携し県民全体で進めるようになっていく 80.1%

出典：神奈川県平成24年度
県民ニーズ調査結果

モデレータープロフィール

神野直彦(じんの・なおひこ)

東京大学名誉教授

1946（昭和21）年生まれ。専攻は財政学・地方財政論。政府税制調査会会長代理、総務省の地方財政審議会会長も務める。主な著書に『地域再生の経済学』（石橋湛山賞受賞、中央公論新社）、『システム改革の政治経済学』（エコノミスト賞受賞）『人間回復の経済学』『財政の仕組みがわかる本』『教育再生の条件』『分かち合いの経済学』（以上、岩波書店）、『財政学』（有斐閣）、『失われた30年 逆転への最後の提言』（NHK出版新書、金子勝氏との共著）等。その他編著書多数。



基調講演者プロフィール

内山 節(うちやま・たかし)

哲学者

1950（昭和25）年東京生まれ。哲学者。立教大学大学院教授、特定非営利活動法人森づくりフォーラム代表理事など。存在論、労働論、自然哲学、時間論において独自の思想を展開する。1970年代から現在でも、東京と群馬県上野村との往復生活を続けている。上野村では畑を耕し、森を歩きながら暮らしている。主な著書に『文明の災禍』（新潮新書）、『怯えの時代』『里』という思想（新潮選書）、『共同体の基礎理論』（農山漁村文化協会）、『日本人はなぜキツネにだまされなくなったのか』（講談社現代新書）、『清浄なる精神』（信濃毎日新聞社）など多数。



地域力を育てるビジョンづくりをみんなで考える

参加者のみなさんを含めて会場全体で〈ダイアログ〉

2日目午後の〈ダイアログ〉のプログラムでは、参加者のみなさんも含めてテーブルごとに話し合いをします。内山節さんの基調講演や、下條村・伊藤村長と逗子市・平井市長の講演、県内で活動されているNPO等の現場からの話題提供を聞いて、あなたの感想や意見を話してください。

Ustream/facebook/twitterを使って、広く発信

当日はUstreamを使って、会場の様子を配信します。また、facebookでは、基調講演者・話題提供者・討議者の方々にに関する情報を集めて発信します。

なお、「地域力を育てるための私の提案」を募集しますので、twitterを通してあなたの意見をつぶやいてみてください。

●Ustream 「21世紀かながわ円卓会議」

●facebook & twitter 「湘南国際村学術研究センター (KIF)」 @KIF_shonan_PR



11

9

13:30

～

17:00

開会挨拶	13:30	福原義春(公益財団法人かながわ国際交流財団理事長)
趣旨説明	13:40～14:10(30分)	モデレーター 神野直彦(東京大学名誉教授)
第Ⅰ部 【制度として】地域力を育てる制度		
講演 1	14:10～14:40(30分)	「村民とともに歩む地域づくり～子ども・若者が元気な村に～」 伊藤喜平(長野県下條村長)
講演 2	14:40～15:10(30分)	「新しい地域自治～地域の課題を地域で解決するために～」 平井竜一(逗子市長)
	15:10～15:30(20分)	コーヒープレイク
討 議	15:30～17:00(90分)	「住民自治を高める地域力」 冒頭発言 1：鈴木高雄(平塚市市民部長) 冒頭発言 2：林 秀明 (神奈川県政策研究・大学連携センター～シンクタンク神奈川～所長)
1日目終了	17:00	

11

10

9:30

～

17:00

前日の振り返り	9:30～9:40(10分)	モデレーター 神野直彦
第Ⅱ部 【主体として】コミュニティを担う多様な主体		
基調講演	9:40～10:30(50分)	「生きている共同体とは何か ～関係を生み出す社会デザインを考える～」 内山 節(哲学者)
討 議	10:30～11:00(30分)	冒頭発言：山梨崇仁(葉山町長)
話題提供	11:00～11:20(20分)	・子ども(多様なかわりによる子どもの育成) 奥山千鶴子(NPO法人びーのびーの理事長)
	11:20～11:40(20分)	・高齢者(地域全体としてのケアを支える側／支えられる側からの脱却) 加藤忠相(小規模多機能型居宅介護事業所おたがいさん経営者)
討 議	11:40～12:20(40分)	
	12:20～13:20(60分)	昼 食
第Ⅲ部 【機能として】地域力を育てるビジョンづくり		
ダイアログ	13:20～15:20(120分)	「地域力を育てるビジョンづくり」 ファシリテーター：世古一穂(NPO法人NPO研修・情報センター代表理事)
	15:20～15:40(20分)	コーヒープレイク
対 談	15:40～16:30(50分)	「地域力を育てる鍵は？」 早野 透(桜美林大学教授／元朝日新聞編集委員) 高島肇久(株式会社日本国際放送特別専門委員／21世紀かながわ円卓会議運営委員)
全体ダイアログ	16:30～16:50(20分)	講師・討議者・一般参加者からのコメント
総 括	16:50～17:00(10分)	モデレーター 神野直彦
閉 会	17:00	

■討議者の方々(9月15日現在)：50音順

泉 一弘 NPO法人ふらっとステーション・ドリーム理事長
伊藤 喜平 長野県下條村長
内山 節 哲学者
江成 卓史 NPO法人子育ちの里 食と遊 副理事長
小川 泰子 社会福祉法人いきいき福祉会専務理事
奥山千鶴子 NPO法人びーのびーの理事長
加藤 忠相 小規模多機能型居宅介護事業所おたがいさん経営者
川崎 あや 一般社団法人インクルージョンネットよこはま理事

後藤 千恵 NHK放送文化研究所メディア研究部
鈴木 高雄 平塚市市民部長
世古 一穂 NPO法人NPO研修・情報センター代表理事
中嶋 弘孝 神奈川新聞社論説主幹
林 秀明 神奈川県政策研究・大学連携センター～シンクタンク神奈川～所長
早野 透 桜美林大学教授／元朝日新聞編集委員
平井 竜一 逗子市長
山梨 崇仁 葉山町長

■21世紀かながわ円卓会議の企画を立案した運営委員会の方々：

樺山 紘一 印刷博物館館長／東京大学名誉教授
高島 肇久 株式会社日本国際放送特別専門委員
黒田 玲子 東京理科大学教授／東京大学名誉教授

福原 義春 公益財団法人かながわ国際交流財団理事長
武藤 誠 公益財団法人かながわ国際交流財団常務理事

申込 方法

締切 **11月1日(金)**

申込みFAX

046-858-1210

E-MAIL

entaku@kif.ac

- 申込み欄もしくはメールに以下の項目を記載してお申込ください。申込み締切は、**11月1日(金)**です。申込者多数の場合には抽選となりますが、結果の如何に関わらずお申込いただいた方全員へご連絡いたします。
- 11月10日(日)の昼食は湘南国際村センター内2階のレストラン“桂”または1階のカフェテリア“オーク”のご利用ができます。“オーク”での食事(1,200円)は事前申込みが必要です。ご希望の方は申込書の所定の欄にチェックをご記入ください。
- ※ ご登録いただいた個人情報、当財団のみが取り扱い、本講演会の事務や当財団のイベントのご案内以外の目的には使用いたしません。

フリガナ 氏 名			
所 属		部 署	
住 所	〒		
電 話		ファックス	
メール		11月10日 昼食	☐ 希望する(当日に参加費とともにお支払いください)

地域力を育てるための私の提案(※任意のご記入で結構です)

プログラム2日目には会場のテーブルごとに行う、「ダイアログ」があります。その話し合いをより充実したものにするために、今、あなたの考える「地域力を育てるための私の提案」をお書きください(120字以内)。お寄せいただいた提案は、当日の資料としてお配りします。メール(entaku@kif.ac宛て)で送信していただいても結構です。

●私の提案(120字以内)

●お名前(ペンネーム・匿名でも結構です)

湘南国際村センター(葉山町上山口1560-39) 交通案内

①逗子駅・新逗子駅発 湘南国際村行きのバス

JR逗子駅前1番乗り場より「湘南国際村」行きバスに乗車、「湘南国際村センター前」下車。約30分、340円。

JR逗子駅発車後2～3分で、京急新逗子駅前1番バス乗り場に停車。

②京急汐入駅発 湘南国際村行きのバス

京急汐入駅前2番乗り場より「湘南国際村」行きバスに乗車、「湘南国際村センター前」下車。約30分、370円。

【タクシーをご利用の場合】 JR逗子駅前タクシー乗り場より湘南国際村センターまで約15分、約2,800円。

【高速バスをご利用の場合】 横浜駅東口(Y-CAT)より湘南国際村センターまで約40分、900円。

【交通案内HP】 <http://www.k-i-a.or.jp/shonan/access/>

お問い合わせ

(公財) かながわ国際交流財団 湘南国際村学術研究センター (担当: 清水)

電話 046(855)1821 メール entaku@kif.ac